

礎

学校法人 尚綱学園 広報誌
SHOKEI EDUCATIONAL INSTITUTION
PUBLIC INFORMATION

ISHIZUE
2008・Summer vol.10

尚綱学園通信

平成20年度 尚綱公開講座 **メインテーマ** 『人間探求～これからの自分を探す旅～』

尚綱学園恒例の公開講座を開催します。皆様多数のご来場をお待ちしております。

■ 開講日時と講座内容

開講日	I (9:30～10:50)	II (11:10～12:30)	
8月23日(土)	勝講式 女性のこれからの生き方(キャリア・デザイン) 尚綱大学短期大学部総合生活学科教授 大羽宏一	情報社会の光と陰・地域社会の輝きを求めて 尚綱大学非常勤講師(熊本大学教育学部教授) 山中守	
8月30日(土)	身近な歴史を探究する ～熊本と中国の近現代交流史から～ 尚綱大学文化言語学部講師 北口英穂	熊本の朝鮮文化を通して熊本人像を探る 尚綱大学文化言語学部准教授 中川明夫	
9月6日(土)	人口動態統計から見た出生と死亡 尚綱大学生活科学部教授 井上稔	生物から学ぶ生かしか生かされる世界 尚綱大学短期大学部総合生活学科教授 藤元亮士	
9月13日(土)	QOL(生活の質)を高めるための食べ方、 動き方、休み方 尚綱大学生活科学部准教授 石井孝文	海外旅行を通して自分を再発見しよう! (海外旅行に必要な英会話指導も含む) 尚綱大学文化言語学部講師 ジョシュ・ノーマン	
9月20日(土)	旧細川藩医崎野宗巴の医療・福祉実践 ～西南戦争の戦禍甚大の中、敵味方の枠を 超え救護に尽くした一民間医に迫る～ 尚綱大学短期大学部幼児教育学科准教授 坂口寛治	「私の人生の旅」 人格教育チキストから学ぶ 尚綱大学文化言語学部講師 吉田誠	開講式

主催 尚綱学園
 後援 熊本県
 会場 九品寺キャンパス大学1号館 10階ホール
 熊本市九品寺2丁目6番78号
 受講者 男女、年齢に関係なく、受講できます。
 受講料 5日間の資料代実費として2,000円をご負担いただきます。お申し込みの方は、事前に講義録を送ります。
 受講申し込み 往復はがきに①郵便番号、②住所、③氏名(フリガナ)、④年齢と性別、⑤電話番号、⑥受講希望講座名、⑦前回受講の有無、を書いて8月18日(月)までにお申し込みください。なお、当学園ホームページ又はE-mailでもお申し込みできます。
 個人に関する情報は、公開講座に関してのみ使用させていただくことを申し添えます。
 ※受講される方には受講証をお送りします。
 申込先 「尚綱学園内 尚綱公開講座係」
 お問い合わせ 〒862-8678熊本市九品寺2丁目6番78号
 TEL.096-362-2011
 ホームページ http://www.shokei-gakuen.ac.jp/
 E-mailアドレス/univ@shokei-gakuen.ac.jp
 ※お問い合わせも「公開講座係」にお願います。

平成20年度 文化言語学部公開講座 **メインテーマ** 『真の豊かさを求めて』

期日:平成20年9月27日(土)、10月4日(土)、11日(土)、18日(土)、25日(土) 会場:楡木キャンパス 時間:①9時30分～10時50分 ②11時00分～12時20分
※講座内容、申し込み方法等については、決まり次第ホームページ等でお知らせします。

第7回オール熊本小学生英会話暗唱大会

趣 旨 ①小学生の英語への興味・関心を高め、英語によるコミュニケーション能力の基礎を培う。
 ②国際理解に関する学習の一環として行う「英会話」等体験的な学習推進の振興に寄与する。

内 容 英会話暗唱の発表

①暗唱課題	次の(A)～(C)の中からひとつを選択する	(A)指定課題文Ⅰ (イ)指定課題文Ⅱ (ウ)自由課題文(既存またはオリジナルの英文)
②発表方式	個人又はグループ(グループの場合は3人以内)	
③発表時間	2分30秒以内	

開催日時 平成20年9月7日(日)午前10時開始[受付は9時30分まで]

開催場所 尚綱中学校5階ホール

主 催 尚綱中学校 〒862-8678熊本市九品寺2丁目6-78

出場資格 県下の小学校3年生以上の児童(帰国児童を含む) 出場費:無料

申込期間 平成20年7月10日(木)～平成20年7月31日(木)

※申し込み多数の場合は先着80組で締め切ります。

表 彰 ●尚綱学園大賞(グランプリ) ●帰国児童等部門大賞 ●熊日賞
 ●NHK熊本放送局賞 ●RKK賞 ●TKU賞 ●KKT賞 ●KAB賞
 ●九州教育図書センター賞 ●尚綱学園賞 ●奨励賞

申 込 先 「尚綱中学校英会話暗唱大会係」〒862-8678熊本市九品寺2丁目6-78
 お問い合わせ TEL.(096)-363-2301 FAX.(096)-371-5683 尚綱中学校 担当:黒木朝・田中崇範
 詳しくは尚綱中学校ホームページ http://www.shokei-gakuen.ac.jp/jh/をご覧ください。

第3回 尚綱大学文化言語学部熊本県女子高校生 エッセイコンテスト

主 催 尚綱大学文化言語学部
 後 援 熊本県教育委員会 熊本日日新聞社
 NHK熊本放送局
 テー マ 日本語の部「世界と自分との距離」
 (1000字～1200字程度)
 英語の部「The Most Unforgettable Event in My Life」
 (600語～800語程度)

応募資格 熊本県内の女子高校生
 応募人数 日本語の部、英語の部、それぞれ各校より原則として5名まで
 応募期限 平成20年10月1日(水)(当日消印有効)
 応募方法 ①表題、高等学校名、学年、氏名を最初に明記して下さい。
 ②日本語の部は縦書きに、英語の部は横書きにして下さい。
 ③作品は未発表のものに限り、応募用紙を添付して下さい。

申 込 先 「尚綱大学文化言語学部 エッセイコンテスト係」
 お問い合わせ 〒861-6638熊本市楡木6丁目5番1号
 TEL.(096)338-8840(担当:加藤・山口)

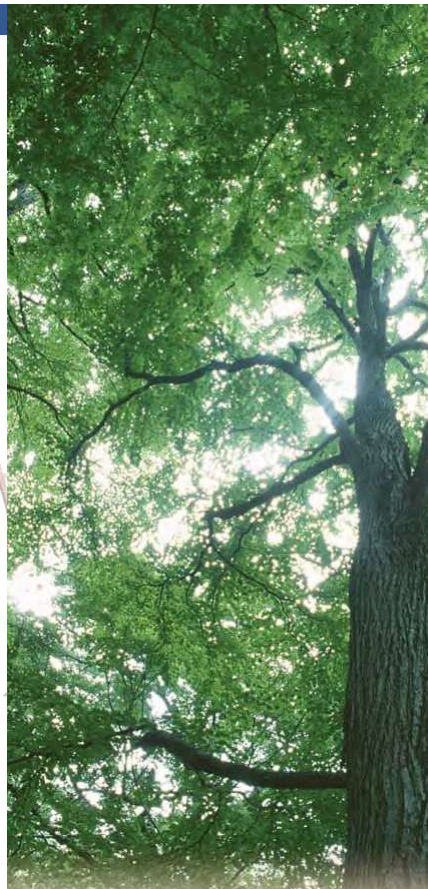
学校法人 尚綱学園

〒862-8678 熊本市九品寺2丁目6番78号 TEL.096(364)0116 FAX.096(363)6520
 尚綱大学 http://www.shokei-gakuen.ac.jp/univ/ 尚綱高等学校 http://www.shokei-gakuen.ac.jp/hs/
 尚綱大学短期大学部 http://www.shokei-gakuen.ac.jp/univ/ 尚綱中学校 http://www.shokei-gakuen.ac.jp/jh/
 尚綱大学短期大学部附属幼稚園 http://www.shokei-gakuen.ac.jp/kids/

尚綱高等学校120年のあゆみ

尚綱高等学校 創立120年を 迎えて

尚綱高等学校は、1888年(明治21年)に濟々嶺附属女学校として創設され、今年120周年を迎えました。これを記念して学園広報誌「礎」では、尚綱高等学校の120年のあゆみと、在校生、同窓生の方々より頂いた在学時のエピソードやこれからの尚綱への期待などをご紹介し、今昔の尚綱を感じていただきたいと思えます。



明治21年

濟々嶺附属女学校として開校
初代校長 内藤儀十郎 生徒数23名

明治22年

昭憲皇太后より「待春」の御歌を下賜

明治24年

尚綱女学校として独立

明治29年

尚綱高等女学校と改称

大正9年

現在地に校舎を新築移転

昭和3年

現在の制服を制定

昭和4年

尚綱五ヶ条を制定

昭和6年

県下女学校の代表として昭和天皇陛下下行幸



行幸記念館
昭和6年、昭和天皇の行幸を記念し、翌昭和7年に行幸記念館が建てられた。



天皇行幸記念館落成式



行幸記念マスゲーム



制服制定(昭和3年)



九品寺校舎(大正9年)



初代校長
内藤儀十郎

尚綱五ヶ条
一尚綱 尚綱は、尚綱の
一尚綱 尚綱は、尚綱の
一尚綱 尚綱は、尚綱の
一尚綱 尚綱は、尚綱の
一尚綱 尚綱は、尚綱の



尚綱コンサート
今年で11回目を迎える尚綱コンサートは、在校生から卒業生まで3世代に亘る尚綱ファミリーが
集まり、書道・琴演奏・コーラス・マンドリン演奏など、多彩な催しと華やかな演奏が魅力です。



体育祭 マスゲーム
50年以上続く伝統のマスゲームは、人文学で作る優雅な演技を披露する、体育祭のメイン競技です。



はなしのぶコンサート
はなしのぶコンサートは、阿蘇の野草園で、はなしのぶの美しさに魅せられた人々を中心となって
始められたもので、尚綱高校ギター・マンドリン部も昭和56年から参加しています。

昭和6年

現在の校歌、校章を制定

昭和15年

現在の校旗を制定

昭和23年

学制改革によって尚綱高等学校発足

昭和35年

創立70周年記念事業として体育館落成

昭和48年

創立85周年記念式典挙行

昭和53年

創立90周年記念式典挙行

昭和60年

阿蘇野草園にて昭和天皇の御前で
尚綱高校マンドリンクラブが
「はなしのぶの歌」を演奏

昭和60年

昭和天皇より「はなしのぶ」の御製を御下賜

昭和63年

創立100周年記念式典挙行

平成10年

創立110周年記念式典挙行



尚綱文化祭(平成20年)



九品寺校舎全景(昭和33年)



体育館完成(昭和34年)



校章



校旗

礎 いしづえ | vol.10 Contents

◎巻頭特集 尚綱高等学校 創立120年を迎えて

◎巻頭特集 尚綱高等学校 創立120年を迎えて

平成19年度 尚綱学園 年間総集編…………… 4

クラブ・同好会紹介…………… 6

就職活動サポートエリア…………… 8

尚綱学園ニュース…………… 9

尚綱通信…………… 10



立山 貴李子さん
昭和39年尚綱高校卒業。
平成20年3月まで尚綱高校教諭

一人ひとりを見つめることが大切

高校時代は卓球部一筋の日々。大学卒業後に母校の家庭科教諭としてお誘いいただき、40年を勤めました。卓球部の指導も任せていただきましたが、新任のころは授業だけでクタクタに。しかし、生徒たちはいつも一生懸命に卓球に取り組み、第1回熊本県総体では優勝することができました。夏休みに寮生活の生徒を預かり、わが家で合宿のように過ごしたことも懐かしい思い出です。指導する私の方が教えられることが多く、多くの喜びを感じられたこと、今も当時の生徒たちとの交流が続いていることに、とても感謝しています。教諭としては厳しく指導を行ってききましたが、生徒たちは「悪いこと」はちゃんと分かってくれるもの。ですから退職時には、先生方に「生徒はきちんと叱り、その後にケアをしてあげてください」とお願いしました。私学のよさは、生徒の一人ひとりを丁寧に見て、指導できる点。これからも生徒を見つめ、手を差し伸べる教育を続けてほしいですね。



林 のぶさん
平成7年尚綱高校卒業、同11年尚綱大学
書道コース卒業、同15年より尚綱高校教諭

心を磨く女子教育を実践する場

尚綱高校に通う姉がいつも楽し気だったこと、母が建学の精神に共感していたことなどがあり、進学を決意。高校時代は書道部と華道部に所属して、宿泊研修などを通して友人との絆を深めることができ、また、生涯の師と仰ぐ書道の先生と出会うことができました。現在、私は母校で、小さなころからの夢だった書道教諭として過ごせる喜びを噛み締める毎日です。尚綱は、最終的に人間に問われる「心」を磨く女子教育を実践しています。挨拶や掃除といった礼法教育を通して、女性としてのたしなみ、守るべきものを身に付けることができる場なのです。私の高校時代には、パワフルな先生方が多くいらっしやって、生徒の一人ひとりと向き合う丁寧な教育を行ってこられました。私が受けた教育を、今度は私が生徒に還す番。諸先生方と同じような指導はできないかもしれませんが、私なりのカラーを出しながら、生徒たちへの愛情と教育への熱意を受け継いでいきたいと思っています。

周囲に育てられた教員時代

尚綱学園で教鞭を取らせていただいたことを、大変ありがたく思っています。子育てのために一旦退職した後にも声を掛けていただき、新人時代の10年間は、仰ぎみるような諸先輩方、向学心にあふれた同世代の先生方に囲まれ、私自身も育てていただいたと思っっています。未熟ではありましたが、私なりに一生懸命、教育に取り組んできたつもりです。日曜日に保護者会を開き、保護者の方から「張り切ってますね」と言われたり、生徒から集めた作品で文集を作ったり…。楽しい思い出ばかりです。退職後も、職員室にお邪魔すると皆さんが温かく迎えてくださいますし、年齢が近かった古い教え子とは、今では同級生のような親しい間柄になりました。尚綱高校は、120年の長きに亘って女子教育に貢献してこられました。その根幹は、きつと揺らぐことはないでしょう。今後も、良識と品格を備えた女性として社会に巣立つための教育に力を注いでいけることを祈っています。



渡邊 布威さん
昭和35年から平成14年
尚綱中学・高校国語教諭

夢に向かって頑張った3年間

小さなころから保育上になりたくて…。尚綱高校を選んだのは、短大の幼児教育科への進学を考えてのことでした。高校での3年間は、夢を叶えたいと頑張った時間。今振り返ってみても悔いが残っていないほど勉強したと思っっています。また、同じ目標に向かって、ともに進むことができる友人にも出会うことができました。勉強が辛く感じる時期に語り合い、支え合うことができたからこそ、今の自分があると感じています。先生方にも、随分さまざまな悩みを聞いていただきました。高校入学時に、中学・高校を尚綱で過ごした祖母から「私が在学していた時から制服が変わっていい」と言われ、尚綱の歴史が伝わっていました。現在、尚綱幼稚園の教諭として指導する中でも、尚綱の精神、伝統を大切に、互いを尊重し合える優しい子どもに育ってほしいと願っています。素晴らしい先輩方に囲まれて、これからも勉強を重ね、保育士として成長していきたいと思っっています。



松島 亜由美さん
平成16年尚綱高校卒業、同18年尚綱短期大学
幼児教育科卒業、同年より尚綱幼稚園教諭



福嶋 桂子さん
平成11年尚綱高校卒業、
同13年尚綱短期大学幼児教育科卒業

卒業生が誇りに思える女子教育

高校、大学時代を通しての感想は、「楽しかった！」の一言です。在学中には、今でも大切にしている友人たちと出合い、深く付き合うことができました。その中で、先生方からは、基本的な礼儀作法や、きちんとした日常生活を送ることの大切さをしっかりと教えていただき、大変感謝しています。大人になり、社会人として働き始めて、改めて学園で学んだことは役立つことばかりだったと実感しました。世の中はどんどん変化していますが、尚綱高校は、創立当初から「変わっていかない」という点に大きな意味があると思っっています。卒業後に、街中などで尚綱の生徒を見かけると、みんな清潔感があり、清楚で素敵。卒業生であることを誇りに思う瞬間です。ですから、これからも尚綱の建学の精神に基づいた女子教育のあり方は変わってほしくありません。人として大切なことを学べる場であり続け、後輩たちに、大人になっていく貴重な時間を過ごしてほしいと願っています。



中矢 真実さん(尚綱高校3年)
平成18年尚綱高校入学。
2年生より尚綱高校生徒会長を務める

部活動に生徒会に、充実した毎日

尚綱に入学したのは、強豪として知られているソフトテニス部に入ったため。入学からの2年間は部活一色の毎日でした。私自身はよい成績を残せませんでした。が、今は、インターハイに出場する仲間を精一杯応援したいと思っっています。入学当初は初めての寮生活でホームシックにかかってしまし、精神的に辛い時期がありました。そんな時に親身になって相談に乗っていただいたのが先生方。今もとても頼りにしています。生徒会長に立候補したのは、自分自身にチャレンジしてみたいから。生徒会の全員で体育祭や文化祭の準備、募金活動のボランティアなどに携わっています。大変なこと多いですが、やり逃げした時には達成感を感じますし、毎日が充実していて楽しく過ごしています。高校創立120年と聞いて、私は体育祭で行う扇の舞に女子校としての歴史を感じました。これまで受け継がれてきた伝統を、今後も後輩たちが引き継いでほしいと願っっています。



クラブ・同好会紹介

尚綱中学校

水泳部

【顧問】許田重治 【部員数】5名

尚綱中水泳部の19年度の活躍は目覚ましいものでした。3年の高崎裕巳、牛嶋美月、2年の松尾美鈴、吉岡朝日、後藤梨花、後藤桃花、唐井有里佳の7名で頑張りました。

市の中体連、県の中体連で優勝し、長崎で行われた九州大会でも優勝しました。県大会でフリーリレー・メドレーリレーで標準記録を突破して7名全員で盛岡で行われた全国中学校水泳大会に出場し、松尾が400メートル個人メドレーで6位に入賞しました。人吉での学年別大会でも湖東中と同点優勝です。10月に行われた秋田わか杉国体には、高崎が熊本県代表として参加しました。2008年日本選手権水泳競技大会に松尾が出場しました。尚綱中水泳部は各自のスイミングクラブで練習を重ね、尚綱中チームとして力を合わせて各大会に参加しています。20年度も全国大会を目指し練習に励んでいます。各大会での彼女達の活躍を祈りたいと思います。



尚綱中学・高等学校

剣道部

【顧問】水政行弘 【部員数】高校14名
古舘電子 中学9名

剣道の修業目的、「人間形成の道」を確立出来るように毎日稽古に汗を流しています。主な成績は、インターハイ、国体出場、全国中学校選抜剣道大会ベスト8など、県を代表するチームです。現在は、高校生14名、中学生9名の部員で全国制覇を目標に活動しています。
※毎月第3金曜日午後7時30分～9時まで女子稽古会を一般開放中。経験問わず。多くの愛好者の参加をお待ちしています。



尚綱中学校

陸上競技部

【顧問】西山公啓 【部員数】2名

中学陸上部は、角崎友香と西山美化の二人ではありますが、毎朝高校生の部員に混じって練習に励んでいます。特に角崎の活躍は素晴らしい各大会の女子800メートル、1500メートルにおいて上位入賞を果たしております。第38回ジュニアオリンピック競技大会熊本県予選会、熊本市中体連陸上競技大会、県中体連総合体育大会において優勝しております。一月に行われた都道府県対抗女子駅伝に角崎が熊本県代表として中学生区の二区を見事走りぬきました。その後行われた郡市対抗女子駅伝では、熊本市代表として角崎が、上益城郡代表として西山が出場し二人とも素晴らしい走りを見せてくれました。角崎、西山とも尚綱中の看板を背負って今年も走り続けることでしょう。応援よろしくお願いします。



尚綱高等学校

ソフトテニス部

【顧問】坂井裕子 【部員数】35名

平成20年度は、3年福岡友美(非芦中出身)3年酒井沙由理(西原中出身)2年田代真理(尚綱中出身)3年鶴山史織(八代八中出身)この二ペアが全国総体、九州大会に出場しました。九州大会は常に出場していますが、全国大会への出場は久々の快挙、保護者と共に歓声をあげました。日頃から全面的に協力支援して下さる先生方をはじめ周囲の方々に、改めて感謝の気持ちを伝え、私達はソフトテニスの上達のための努力はもちろんの事、あたり前の事があたり前以上に出来る事を常に心がけて学校生活を送っています。これからも、勝った時に「おめでとう」と心から言ってもらえる部活動を目標にして、頑張ります。

平成20年 熊本県高等学校総合体育大会 主な結果

ソフトテニス部

- ◎団体3位
- ◎個人戦5位福岡・酒井(インターハイ、九州大会出場)
- ◎6位田代・鶴山(インターハイ、九州大会出場)

水泳部

- ◎女子総合2位
- ◎400m自由形1位笹本
- ◎100m自由形2位狩野
- ◎100m背泳ぎ4位内ヶ島
- ◎100m平泳ぎ3位松尾
- ◎400m個人メドレー1位宮崎
- ◎400mメドレーリレー2位
- ◎尚綱高校(内ヶ島・松尾・宮崎・狩野)
- ◎200m自由形1位狩野 3位笹本
- ◎200m平泳ぎ2位松尾
- ◎200m個人メドレー2位宮崎
- ◎400mリレー2位
- ◎尚綱高校(宮崎・松尾・笹本・狩野)
- (全種目九州大会出場)

ボート部

- ◎女子舵手付クオドルプル(長岡山並・藤本・奥根・水園) 予選2位
- ◎決勝2位(九州大会出場)

剣道部

- ◎団体ベスト8
- ◎個人3位坂本(九州大会出場)

卓球部

- ◎団体3位

部活動				
	文化系	体育系	同好会	
高校	◎放送 ◎演劇 ◎茶道 ◎ギター・マンドリン ◎映画研究 ◎ESS ◎美術 ◎合唱 ◎華道 ◎琴 ◎JRC ◎写真	◎バスケットボール ◎剣道 ◎バレーボール ◎ソフトテニス ◎バドミントン ◎なぎなた	◎弓道 ◎卓球 ◎水泳 ◎ボート	◎和装同好会 ◎食物同好会 ◎ソフトボール同好会 ◎パソコン同好会 ◎漫画同好会 ◎軽音楽同好会 ◎文芸同好会 ◎ソーイング同好会
中学	◎書道 ◎マンドリン	◎陸上 ◎剣道	◎ソフトテニス ◎卓球 ◎バレーボール ◎弓道	

SHOKEI GAKUEN NEWS

尚網大学・尚網大学短期大学部

4月23日に学生会主催による 歓迎行事が行われました。



文化言語学部：フルーツバスケット等室内ゲーム
野外でのポートボールを予定していましたが、
雨天のぬる室内で色んなゲームを楽しみました。



生活科学部：ソフトバレーボール大会
3学年混合でチームを作り、和気あいあいと
ゲームを楽しみました。



総合生活学科・食物栄養学科：三井グリーンランド
あいにくの雨でしたが、屋内での遊具等で楽し
みました。



幼児教育学科：ソフトバレーボール大会
体育館の中は熱気につつまれました。

尚網中学校

フラワーアレンジメント教室

母の日を前に2・3年生38名が、フラワーアレンジメントに挑戦。大好きなお母さんのために、真心を込めて、世界に1つだけのフラワーアレンジメントを作りました。日頃授業で行っている小原流の華道とは違うので途中四苦八苦する場面もありましたが、先生方のご指導のおかげで皆かわいらしいアレンジができました。受け取ったお母さんたちも心のこもったプレゼントに大感激でした。



尚網高校



尚網高校では、本年度より尚網高校情報発信紙『尚網ふれす』を発行することになりました。初号は「高校総体・総文祭特別号」と題し、インターハイ(全国総体)出場のニュースや総合文化祭の模様など盛りだくさんの内容となっています。

尚網高校ホームページにも掲載しておりますので是非ご覧下さい。 <http://www.shokei-gakuen.ac.jp/hs/>

礎 vol.10 編集後記

学園広報誌「礎」では、これから皆様方出来る限り「尚網の今」をお伝えしていきます。一人でも多くの方々に本誌をご一読いただいて、皆様と一緒に新たな礎を築いていければ幸いです。

尚網大学

日本語検定で最優秀団体賞大学部門

尚網大学文化言語学部は、第2回日本語検定の大学部門で最優秀団体賞を頂きました。日本語検定は、「敬語を正しく使うことができる」、「四字熟語の正確な意味を理解している」といった日本語を正しく運用できるかどうかという能力を測定する試験であり、全国で2万名余りの方々が受検しています。また、TOYOTA、富士通といった多くの企業が、この検定試験を活用し、日本語運用能力を高めています。

この日本語検定には、41校の大学が団体として参加し、その中で、尚網大学文化言語学部は見事、最優秀団体賞を取ることができました。本年度も、再度最優秀団体賞が頂けるよう努力を続けて参りたいと思います。



就職活動サポートエリア



参加者
尚網大学生活科学部
栄養科学科3年
安川 裕香さん

自分に自信が生まれてきました
苦手に感じていた面接を克服し、満を持して就職活動に挑もうと思ったのが参加のきっかけです。やる気のある人たちがばかりで励まされましたし、意識の持ち方が全く変わりました。受講以来、鏡で笑顔の練習をしたり、新聞をよく読んだり。知識が増えるとともに、自分に自信を持つことができました。



学生たちの表情が変わりました
就職課の課題は、どうしたら学生たちが気づき、考えるようになり、行動に移すことができるようになるか。そこで開いたのが、3日間集中の「就職対策講座プログラム」です。開催後に驚いたのは、参加した学生たちの表情が大きく変化し、何事にも積極的になったこと。就職は将来のビジョンに向けての通過点。一人ひとりの学生の能力を引き出すため、就職課全員が全力でサポートしていきます。



参加者
尚網大学短期大学部
食物栄養学科2年
出田 千代さん

具体的な指導で、実際に役立つ内容
卒業上としての就職を希望していますが、2年生への進級を前にして、就職に対する知識が全くなかったため、参加しました。当日は模擬面接講座やマナー講座を受け、履歴書の書き方や「ハンカチは常に3枚持つこと」といった具体的な気配りの仕方などを学ぶことができました。今後の就職活動に役立たいと思っています。

「就職支援セミナー」

尚網大学・尚網大学短期大学部
就職課長
西嶋 敏

「公務員対策講座」

尚網大学文化言語学部 講師
角田 裕之

基礎学力の向上を図り、
学生の夢を実現
公務員対策講座を開講したきっかけは、司書資格を取得した学生が、嘱託ではなく、正社員として採用されるようにとの願いから。そのためには、極めて倍率の高い公務員採用試験の合格が条件。そこで、筆記試験で問われる数学や物理や化学、憲法などの基礎学力の向上を図るため、先生方に呼びかけ、ボランティアで取り組んでいただいていたのが、春休みに集中して行なった講座です。後半からは短期大学部幼児教育学科の学生も参加するようになりました。今後は、講座を元立ち上げがったばかりの公務員研究会を学内外にアピールし、目標を達成したいという学生に応え、継続して勉強ができる環境を充実させていく予定です。

具体的な勉強法が身に付きました
司書を目指していますが、以前は何から始めればいいのかも分かっていませんでした。講座に参加して得た一歩の取組は、行うべきことが明確になった点です。講座をきっかけに発足した公務員研究会では、先生方のご協力をいただきながら勉強を続けていきます。自ら学ぶことの大切さ、苦手な分野の勉強法などを教えていただき、次第に自信も生まれてきました。司書になる夢の実現に向けて、まずは公務員試験の合格を目標に頑張ります。



参加者
尚網大学文化言語学部
日本コース3年
公務員研究会部長
平田 未央さん

